



阿部憲一 議員

**阿部** ①これまでの国との賠償交渉について、この機関と、どのような内容の話し合いをして、月々10万円の精神的賠償はどういう理屈によつて広野町は対象外にされ、またどういうメンバーで決めたので

すか。②楢葉町以北と同等の賠償を懸命に勝ち取るうとすべきであるがいかがですか。③震災・原発事故の時に広野町に住所があり、現在町外で避難する町民およびこれまでの死者は何人ですか。

**阿部** 私が議員になつて定例議会で、広野町における様々な放射能汚染・被曝の危険を具体的に指摘して来ましたが。今後、放射線障害が見えて来た時にどう責任を取るのですか。

**町長** 福島県が実施している、大気浮遊じん環境放射能測定や土壌の放射線モニタリング調査の結果により、被ばくのリスクは低く、今後の放射線障害については、少ないものと受けとめていることから、責任の所在を問う状況には無いと考えております。



内部被ばくを検査するホールボディカウンター

**町長** ①弁護士、学者等で構成する原子力損害賠償紛争審査会が、指針を策定し、東京電力株式会社指針に基づき支払っておりますが、町村間における格差が生じていたことから、審査会事務局の文部科学省や関係省各大臣、東京電力株式会社に対し改善に向けた要望活動を行ってきました。②繰り返し精力的に要望活動を実施しましたが、精神的損害賠償の拡充の交渉は実現不可能との結論に至りまし

た。その上で自立に向けた生活再建支援制度の構築を要望し「福島県早期帰還・生活再建支援交付金」の創設に至りました。今後さらなる支援策が講じられるよう、継続して要望活動を進めていきます。③町外に居住している町民の数は、767人、これまでの死亡者の数は、416人です。



小磯利雄 議員

**小磯** ①選挙公約が町総合計画に十分反映され、目に見える形で結果が出ていますか。②町事業であるべき災害復旧工事を「権限代

行制度」にて完成されたことはありますか。③国・県・町民との「信頼関係」は成就されていますか。

**小磯** 原発事故後、作業員宿舎の減少が見えませんが。①過去4年、年度別作業員宿舎数・作業員数の増減実績をお尋ねします。②平成28年4月施行の「広野町まちづくりのための建築に係る手続き条例」の抑制効果は期待されましたか。③作業員宿舎ゼロに向け、政策的エリアの見直しと、規制の強化をすべきではありませんか。

### 作業員宿舎の現状と政策的対策を

町長／開発抑制みられ、改善を図る

**町長** ①平成25年は企業数80社、作業員数約3400人、26年は81社、約3000人、27年は80社、約3100人、28年は68社、約3200人、29年度は60社、約2500人となっております。②条例は、法的申請行為の前に町へ事業計画の概要を報告することや、町・町民・建築主等が、相互に信頼し協力して行うことを定めているため、無届け開発や違法建築等の抑制効果は図られていると考えています。③町民生活と企業の活動拠点が混在しない土地利用について計画を策定し、町有地内での整備を行い改善を図ることとしました。

### イノベーション・コースト構想における実績と将来像の実現策は

町長／駅東側整備と新たな教育機関誘致

**町長** ①駅東側に広野みらいオフィス、集合住宅ホテル等の整備、広野火力発電所においては、高効率石炭火力発電所（IGCC）の建設が進んでいます。②早稲田大学「ふくしま広野未来創造リサーチセンター」、東日本国際大学「いわき短期大学の「広野センター」を設置し、さらに、新

たな教育機関の誘致に向けて協議を進めています。③国・県・町民との「信頼関係」は成就されていますか。

**小磯** ①生業や生活の再建・自立に繋がった推進実績をお尋ねします。②本町における将来像の個別具体化・実現策を伺います。

### 選挙公約の反映と信頼関係の成就是

町長／様々な施策展開大切な声を届けている

**町長** ①計画に基づき駅東側やひろのてらす整備、工業団地への企業誘致、ふくしま広野未来創造リサーチセンターなど様々な施策を展開しています。②激甚災害復旧適用に向け権限代行制度運用は、実施していません。③声を聴くことが最も重要であり、町政懇談会や住民説明会、町長への手紙により町民の皆様との信頼関係構築に努めています。また、国、県へ町民の声や町の現状を丁寧

に説明しながら、一体となり施策を実施しています。